



けやき

富士宮市立富丘小学校
学校だより
令和3年度 5月号

学校教育目標 夢をもち、共に学び続ける富丘の子



け：げんきな子 や：やさしい子 き：きいて伝える子

**自己調整力とやり抜く力
コミュニケーション能力・創造性を育む教育の推進**

「まちがいは宝！」

新年度が始まって、早いもので、もう1か月が経ちました。1年生も学校生活に慣れ、ペアの6年生のお兄さん、お姉さんに見守られながら、安心して元気に活動する姿が、あちらこちらで見られます。6年生の1年生を見守る目に、最高学年としての自覚が感じられて、とても頼もしく思います。そうした6年生の姿を手本として、下級生たちもやる気一杯の毎日を送っています。

子供たちは、毎日の学校生活を送る中で、様々なことを経験していきます。その中で、時には失敗したり、間違ったりして、くやしい思いをすることもあります。大切なのは、その失敗や間違いを次へどうつなげていくかであり、そうした経験の積み重ねは、子供たちの「生きる力」につながっていくのだと考えています。そのためにも、私たちは子供たちを全力で応援していきます。

そこで、5月の朝礼では、子供たちに「教室はまちがうところだ」の詩を紹介しながら、次のような話をしました。

4月の始業式では、「一生懸命を大切にしよう」という話をしました。みんなは、毎日の授業に一生懸命取り組んでいますか？一生懸命発表できていますか？（間違えたらどうしよう。）なんて思って、なかなか手の挙がらない人はいませんか？今日は、そんなふうに、恥ずかしくてなかなか発表のできない人に聞いてほしい詩を紹介します。反対に、どんどん発表できる人にも聞いてほしいです。

教室はまちがうところだ まきた しんじ	教室はまちがうところだ みんななどしどし手を上げて まちがった意見を 言おうじゃないか まちがった答えを 言おうじゃないか	まちがうことを おそれちゃいけない まちがった意見を まちがった答えを ああじゃあないか こうじゃあないかと みんなを出しあい 言い合うなかで ほんとのものを 見つけていくのだ そうしてみんなで 伸びていくのだ	神様でさえまちがう世のなか ましてこれから人間になろうと している僕らがまちがったって なにがおかしいあたりまえじゃないか	まちがいだらけの僕らの教室 おそれちゃいけないワラッちゃいけない 安心して手を上げる 安心してまがえや まちがったってワラッたり ばかにしたりおこったり そんなものはおりやあせん	まちがったって誰かがよ なおしてくれるし教えてくれる 困ったときには先生が ない知恵しほって教えるで そんな教室作ろうやあ
------------------------	--	--	--	---	---

とても長い詩なので、途中を省きました。全部の詩は、校長室の前に掲示しておくので、また読んでください。

この詩の中で、「間違った意見を言おうじゃないか」というところがあるけれど、これは、「わざと間違えたことを言いなさい」ということではありません。「みんなが、自分で一生懸命考えたことを、間違ってもいいから一生懸命発表してほしい」ということです。そして、もっと大事なことは、聞く人の聞き方です。聞く人は、話す人の考えをわかろうとして、一生懸命聞いてあげてください。たとえ、その考えが間違っていたとしても、笑ったりしないで、最後まで一生懸命聞いてあげてください。きっとその間違いがもとになって、みんなの考えがもっともっと広がっていくと思います。何となく分かっていたことが、もっともっとしっかり分かるようになるはずですよ。だから、「間違いは宝物」なのです。

学校では、5月29日の運動会に向けての取組が始まっています。今年も、新型コロナウイルス感染症対策による制限を設けての開催となりますが、ここでも、子供たちのたくさんの「一生懸命な姿」が見られることを期待して、家庭・地域・学校が一体となって、「チーム富丘」で一生懸命応援していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いたします。
(校長 谷 学)